

# 左近山地区での自動運転EVバスの 実証実験結果報告



相鉄バス株式会社

# 実証実験の概要

## 目的

持続可能な地域公共交通の実現に向けて、バス運転士不足に対応し、既存のバス路線を維持するために自動運転バスの実証実験を実施

## 運行ルート

二俣川駅南口 ~ 左近山団地第5  
片道 4.38km

## 運行期間

令和8年 1月16日~2月19日

## 運行形式

自動運転レベル2  
運転席に運転士を配置し、必要に応じて運転士が手動で介入を行う形での走行)

## 車両

Minibus 2.0  
(ティアフォー製 小型電気EVバス)  
定員16名 / 最高速度35km/h



## ■実施体制

- 自動運転バス運行に関すること  
相鉄バス株式会社
- 車両・システムに関すること  
A-Drive株式会社
- 実証実験支援に関すること  
横浜市道路・交通政策局 交通政策課 (昨年度:都市整備局 交通企画課)

# 目標達成状況

97.5%

自動走行割合

目標85%以上

98.6%

交差点通過  
成功率

目標90%

99.6%

信号認識率

目標90%

項目	目標値	結果	判定
横断歩道通過時の自動運転成功率	80%	98.1%	達成
路上駐車車両回避成功率	50%	37.1%	未達成
1便当たり手動介入回数	10回以内	2.26回	達成

総乗車人数

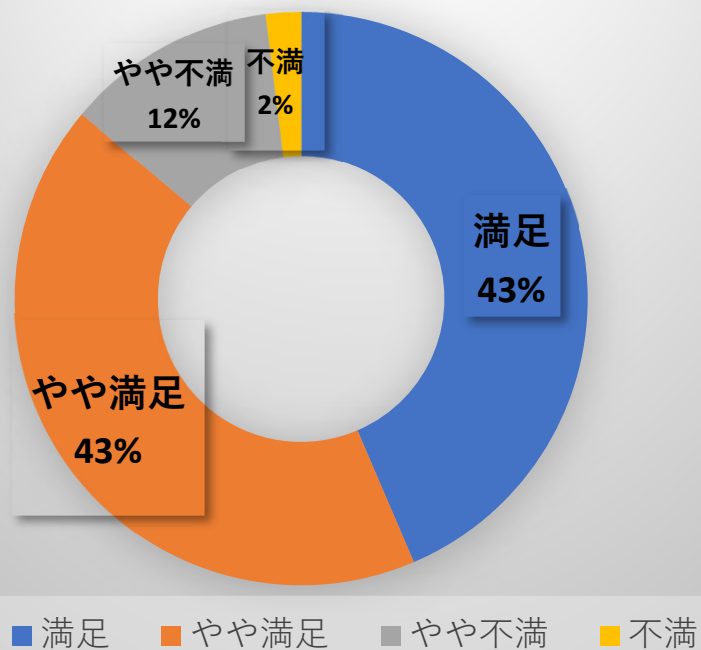
1,701人

25日間

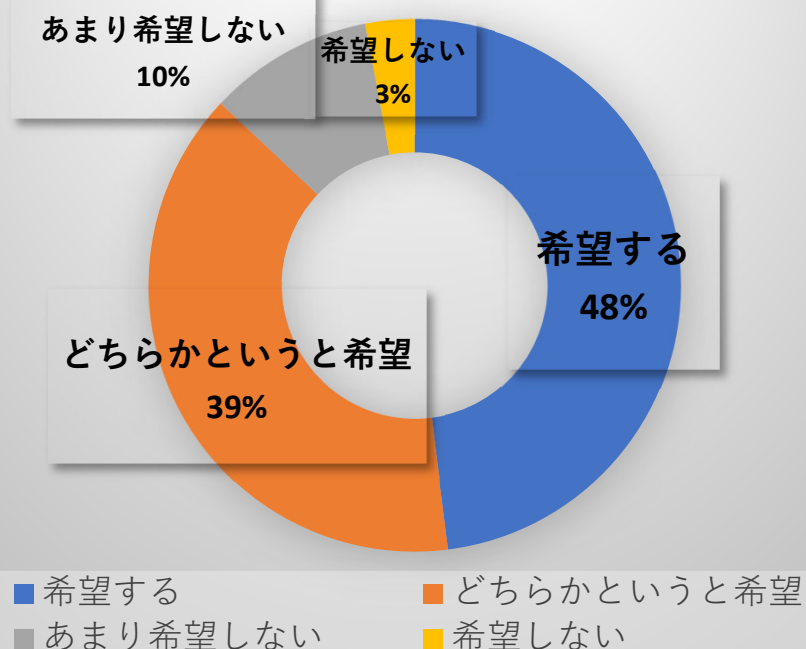
# 利用者アンケート結果

回答者数：452人（利用者の約半数が回答）

## 乗車の満足度



## 再利用の意向



### ■ 乗車の満足度

・ 86%が満足と回答

### ■ 再利用の意向

・ 87%が希望すると回答

### ■ 課題

- ・ 約6割が危険を感じたと回答
- ・ 危険を感じた場面は、「停止時」が50%で最も多く、次いで「緊急停止時」が47%

実証実験の課題を踏まえて、引き続き社会実装に向けて検討を進めます。